

地域は、みんなの博物館
敷地村エコミュージアム構想

協働の地域づくり
100万本の彼岸花を育てて地域を飾ろう！



平成21年1月

豊岡東地区環境保全協議会

「エコミュージアム」って、なあに？

皆さんは、「エコミュージアム」という言葉をご存知ですか。

地域に点在するいろいろな資源（山、森、川、農業、伝統芸能、歴史的な建物、昔話・伝説、伝統の食べ物、生活習慣など）を展示物に見立て、地域全体を「屋根のない博物館」として捉え、地域資源を保全・育成・活用して地域の活性化と経済の振興を図る取り組みのことをいいます。

住む人が中心となり、ふるさとの資源を掘り起こしながら、地域への愛着を深め、学び、楽しく暮らしていくことに誇りを持ち、みんなで協力し合って、誰もが生き生きと暮らせる豊かな生活を築いていく活動であり、コミュニティビジネスの手法を用いて地域を盛り上げていこうという事業活動です。

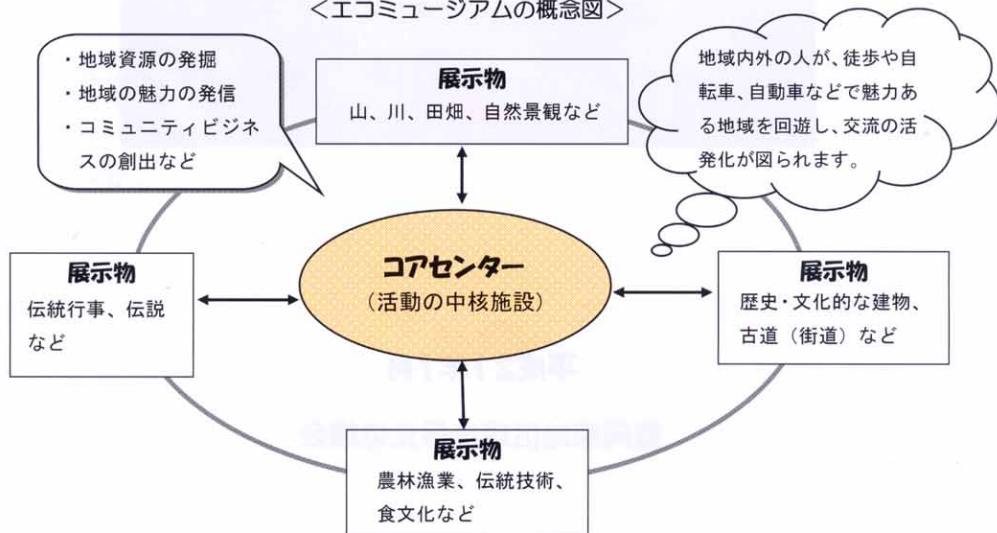
東地区（旧敷地村）には、森林、敷地川、桜並木、獅子ヶ鼻公園、田園風景、水稻、コロ柿・次郎柿などたくさんの地域資源が点在しています。また、豊岡東地区公民館や豊岡地域福祉センターの交流・福祉活動、東地区協議会・東地区環境保全協議会の農地・水・環境保全向上活動、しきじ土曜倶楽部の学び・体験活動など、コミュニティ活動も活発に行われています。

地域を見直して、日常生活でのふれあいやつなごりを大切にしながら、住民と行政、専門家などが智恵と労力を出し合い、協働して“住んで良かった、住んでみたい”魅力ある地域づくりに取り組み、将来に引き継いでいきましょう。

※コミュニティビジネス

地域住民が主体となり、地域資源を活かしながら地域の課題をビジネスの手法を用いて解決する取り組みです。住民のアイディアや熱意で新たなビジネスの場を創出し、実践することにより、地域を豊かに、元気にする効果を生み出します。

<エコミュージアムの概念図>



さあ、はじめましょう！

● 敷地村エコミュージアムの取り組み

東地区のふるさと再発見

地区の点検、
ふるさと発見マップ
の作成



地域資源の保全・活かす方法

やってみたいこと、
やれること、アイデア
・意見の交換



みんなで楽しく実践！

美しい景観づくり、
自然体験、食農体験
彼岸花祭りなど

ふるさとの水・土
を守る活動など



★本紙の内容に関する連絡先、お問合せ先「あなたのアイデアをお知らせください」

・豊岡東公民館 TEL0539-62-6669

・磐田市豊岡支所地域振興課 TEL0539-63-0020

※豊岡東地区のホームページ「青雲」をご覧ください。http://www4.tokai.or.jp/shikiji/

敷地村エコミュージアムの活動プラン

●活動のキーワード…環境、健康、教育

●活動の基本的な考え方

- ・敷地村エコミュージアムは、ふるさとの見直しや暮らし方（自然との共生）などについて学ぶ、みんなの学校です。
- ・地域資源を保全・育成・活用し、住民と行政による協働の地域づくり、誰もが生き生きと暮らせる地域づくりを促す“場”です。そこから生まれるコミュニティビジネスを発掘しましょう。

<敷地村エコミュージアム活動のイメージ図>

